



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年11月30日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 元気が一番! 』 校長 山下 文博

朝夕はすっかり寒くなり、冬の気配を感じるようになってきました。二学期もあっという間に終盤を迎えました。

11月は、130回目の創立記念日からはじまり、たくさんの学校行事がある中で、とっても活気のある川西小学校でした。その中でも、私が特に良かったと思っていることは、地域の方々に川西小学校に来て下さる機会を複数回持てたという事です。「おむすびの日」には、おむすびサポーターの方々と6年生と一緒におむすびを作ることができました。また、「ふれあい給食会」や「川西こどもまつり」にもご参加していただき、子どもたちとの時間を共有していただくこともできました。また、残念ながら雨天のため中止となりましたが二中すこネットのクリーン作戦後に予定していた、「川西フェスティバル」では、校区交流会議の皆様にもご支援いただき、「ボッチャ」、「ゲーゴルゲーム」、「公式わなげ」などを、子どもたちと地域の方々が一緒になって楽しむ事ができました。今までコロナ禍で実施できなかった様々な取組や活動が戻ってきて、地域の方から「ほんまに子どもらから元気もらえて嬉しいですわあ〜。」のお言葉もいただき、更に川西小学校が元気になりました。

さてそんな中、川西小学校の子どもたちは寒さに負けず、元気いっぱい登校してくれています。特に、11/13からスタートしている「ランニングタイム(持久走)」では、全校児童が一丸となって取り組んでいます。登校後すぐに運動場を走っている子、休み時間になると多くの子が大急ぎで運動場へ向かっています。また、長休みを使った全校一斉のランニングタイムでは、先生方も一緒にランニングに取り組んでいます。途中でペースの落ちてきた友だちに寄り添うように、声をかけながら走っている姿も見られます。ここでもまた、川西小学校児童の“良さ”が輝いています。

私事ですが、数週間前のある朝、校区の巡回を終え、各教室に挨拶にまわっている時です。1年生の教室でいつものように挨拶をすると、いつもと同じように元気な挨拶を返してくれたあと、一人の男の子が、そばによって来て、私の顔を見上げながら「ぼく、こうちょうせんせいのえがおが だいすきやねんっ!」と最高の笑顔でそう言ってくれました。

それからしばらく経ったある日、今度は1年生の女の子からお手紙をもらいました。そこには「やさしくて えがおな こうちょうせんせいは わたしは大好きです。」と書かれてありました。そうやって自分の気持ちを素直に表現してくれたことはとても大切なことだと思いますし、そのことが他者の感情をとっても気持ちのいいものにしてくれるんだという事を1年生の児童二人に教えてもらいました。これからも笑顔の絶えない川西小学校であり続けたいものです。

